

9 SBサンドIIの施工方法

「SBサンドII」カラーページP.318

〈製品の特徴〉

- ・インターロッキングブロックの目地に充てんし、散水することで固定化するタイプの目地砂です。
- ・雨水による目地砂の流出と、雑草の育成を抑制することができます。



〈適用範囲〉

- ・舗装材の種類…普通インターロッキングブロック、およびパエリア (下記一覧参照)
- ・目地幅…細目:2~15mm、粗目:5~15mm
- ・路盤…砕石路盤等の排水性を確保した路盤
- ・使用条件…勾配10%以下で、大型車両の乗り入れがなく、車両が高速走行しない(30km以下)箇所



施工後に完全乾燥して常時湿潤しない箇所(コンクリート路盤、雨どいの下、屋根から水が落ちる箇所等、乾燥しづらい箇所は固定化できず使用できません。)



〈SBサンドIIが使用できる舗装商品 一覧〉

シリーズ	商品名	品種
インターロッキングブロック	ランカ	全品種
	ローカーボン・パイプ	全品種
	パエリア	全品種
	ロシェ・ナチュラル	全品種
	リビオ	全品種
	ロシェ・ヴァンテージ	全品種
	オールラウンドパイプ・オリジナル	普通
	オールラウンドパイプ・ファイバー	全品種
	オールラウンドパイプ・スタンダード	全品種
	パラレル	スクエア
	オールラウンドパイプ・ウルトラ	全品種
	ラッフルパイプ	普通
	車道統一型インターロッキングブロック	普通
視覚障害者誘導用ブロック	普通	
誘導サポートパイプ	普通	

〈SBサンドIIが使用できない舗装商品 一覧〉

シリーズ	商品名	品種
インターロッキングブロック	シャビー	全品種
	ソルベ	全品種
	オールラウンドパイプ・オリジナル	透水性
	オールラウンドパイプ・透水性	全品種
	パラレル	透水性
	セーフティーズ	全品種
	ラッフルパイプ	透水性
	リビオ[ai]緑化80	全品種
	オールラウンドパイプ・グラスハーフ	全品種
	車道統一型インターロッキングブロック	透水性
	視覚障害者誘導用ブロック	透水性
	誘導サポートパイプ	透水性
	アクシアシリーズ	全商品
石材	全商品	全品種
れんが	全商品	全品種

〈SBサンドIIの施工方法〉

舗装材の表面および側面が濡れている場合には、よく乾燥させてから施工してください。袋に入ったままの状態ですらに置き、SBサンドIIの全体がよく混ざるように袋の上からもみほぐします。

① SBサンドIIの充てん

舗装材の表面にSBサンドIIを均一にまき、ほうきやデッキブラシなどで目地に充てんします。このとき、粉末硬化剤が片寄らないように、熊手などで分散させてください。



※SBサンドIIをまとめて出して、ほうき等で移動すると材料分離が生じて固定化不良の原因となります。

② 転圧

SBサンドIIを目地部にすきまなく充てんするため、歩く程度のスピードで、一定方向に3回程、転圧を繰り返します。



③ SBサンドIIの補充

転圧して下がった目地部にSBサンドIIを補充し、ほうきやデッキブラシなどで、舗装材表面を掃くようにしてSBサンドIIを目地にすり込みます。



④ SBサンドIIの掃きとり

ほうきやデッキブラシなどで、余ったSBサンドIIをできるだけきれいに掃きとります。散水時にSBサンドIIが残っていると舗装材の表面を汚す可能性があります。



⑤ 散水

ジョーロ等の水圧の低い器具で散水し、十分に水を含ませます。散水する水の温度は15~25℃を推奨します。水がブロックや目地に浸透するのに時間がかかるため、散水は1㎡あたり4ℓ程度を2回に分けて(1回あたり2ℓ/㎡)行ってください。ブロック表面にSBサンドIIが残っていないか確認し、残っている場合には再度散水し目地に流し込んでください。



完全に硬化し、SBサンドIIの表面が硬化するまで、降雨や水の流入を受けないように養生します。乾燥期間は夏季1日以上、冬季2日以上が目安ですが、条件の悪い場所では長引く事もありますのでご注意ください。

〈使用量の目安〉

SBサンドII1袋(20kg)あたりの施工面積は以下の表を目安としてください。

推奨品種	舗装材の形状	L×W×D(mm)	施工面積の目安 (㎡/袋)		
細目	インターロッキングブロック (2mm目地)	6S 100×100×60	4.0		
		8S 100×100×80	3.0		
		6N 200×100×60	6.0		
		8N 200×100×80	4.0		
		226 200×200×60	8.5		
		228 200×200×80	6.5		
		3756 300×75×60	5.0		
		336 300×300×60	13.0		
		338 300×300×80	9.5		
		636 600×300×60	17.5		
		ランカ φ320以内×80	5.5		
		粗目	パエリア	3156 300×150×60	4.0
				336 300×300×60	7.0
636 600×300×60	9.5				

⚠️ 注意事項

- ・SBサンドIIはインターロッキングブロックのたわみに追従する程度の硬さで目地砂を固定化させる製品です。
- ・SBサンドIIは目地砂の流出抑制を目的としており、モルタルのように硬化する製品ではありません。また、石材等の目地モルタルの代わりとしては使用できません。
- ・表面の粗いインターロッキングブロックは、表面の隙間で固まり変色する恐れがあります。透水性インターロッキングブロックには使用しないでください。(パエリア・透水性を除く)
- ・れんがは吸水性が高いため、SBサンドIIの乾燥が進みません。固定化不良を起こす可能性があるため使用しないでください。
- ・施工日、および施工後SBサンドIIが乾燥するまでに降雨や降雪、凍結が予想される場合には施工しないでください。特に曇天や低い気温が続くと乾燥するまでに時間がかかる場合があります。
- ・目地を固定化させるためには浸透水の適切な排水が必要です。路盤等の排水性を確保してください。排水性を確保できないと固定化不良の原因となります。
- ・雨水が屋根等から落ちる場所や、頻繁に水がかかる箇所、周辺の水が集まりやすい箇所等では使用しないでください。
- ・SBサンドIIは数カ所に分散して出してから掃き込んでください。SBサンドIIをまとめて出して、ほうき等で移動すると材料分離が生じて固定化不良の原因となります。
- ・袋を開けて材料が分離してしまいたら、ハンドミキサー等で攪拌してから使用してください。
- ・SBサンドIIが締め固まっていない状態での散水は固定化不良の原因となりますので、必ず転圧を行ってください。
- ・SBサンドIIが舗装表面に残ったまま固定化すると除去が困難です。舗装表面に残らないように、散水前にしっかりと掃きとってください。
- ・散水量が少ない場合や多すぎると固定化不良の原因となります。
- ・プールサイドや子供の遊び場等、裸足になる可能性のある場所では使用しないでください。
- ・保管の際には水で濡れる場所や多湿の場所を避けて、屋内で保管してください。
- ・取扱いの際はマスクや保護メガネ、手袋等の保護具を使用してください。

商品別施工方法

9.8. セーフティーズの施工方法
9.9. SBサンドIIの施工方法